

平成17年11月4日

平成18年度予算編成方針について

1. 基本的な考え方

- 財政の健全性を堅持するため、市税等の一般財源を確保しつつ、聖域なき歳出の抑制を図る。
- 市債発行額を極力抑制し、財政調整基金及び減債基金をできる限り取り崩さない。
- 徹底した事務事業の見直しを行い、予算の重点的・効率的な配分を図る。

2. 予算要求基準（シーリング）の設定

- 平成18年度財政見通しでは、市税収入など一般財源が減少する一方、義務的経費など歳出の増額が見込まれ、相当額の一般財源の不足が予想される。
- このため、政策的経費（指定する経費を除く。）は、一般財源ベースで、17年度当初予算額からマイナス20%の予算要求基準額を設定する。ただし、1割増の要求限度枠を確保する。
- 経常的経費については、義務的経費は所要額を見積るものとし、事務・施設管理的経費は17年度当初予算額からマイナス5%の範囲内とする。

3. 予算の重点的・効率的な配分

- 平成18年度の重点事項
 - ① 新市の一体化の推進
一体感の醸成と均衡ある発展、新市総合計画の策定など
 - ② 新しい富山の創造
北陸新幹線開業を視野に入れた都市基盤整備、市民の安全・安心の確保、次世代の育成、間近に迫った人口減少・超高齢社会への対応など

- 重点事項について、7分野15項目の重点テーマを設定する。予算の重点的・効率的な配分を行うため、重点テーマに係る新規事業については、5億円の特別枠を設定する。

重点テーマ（7分野15項目）

分 野	項 目
1 新しい県都とやまの魅力づくり (都市と自然の調和したまちの実現)	① 北陸新幹線開業を視野に入れた都市基盤整備事業 ② 中心市街地及び地域拠点の活性化事業 ③ 地域公共交通活性化事業
2 安全で安心して暮らせるまちづくり (かけがえのない生命・財産を守る)	④ 災害に強いまちづくり事業 ⑤ 安全で安心なまちづくり事業
3 創造性あふれる賑わいに満ちたまちづくり (とやまの魅力の発信と地域経済の活性化)	⑥ 創業支援、企業誘致など雇用創出に寄与する事業 ⑦ 観光資源の連携等による交流人口の増加に寄与する事業
4 いきいきと輝く人づくり (未来を拓く子どもたちを育む)	⑧ 子育て環境の充実事業 ⑨ 学校教育の充実事業（ソフト事業）
5 地域力を活かした福祉のまちづくり (地域の連携で健やかに生きる)	⑩ 市民が主体となった地域力の強化に寄与する事業 ⑪ 高齢期を迎える団塊の世代を見据えた健康・福祉のまちづくり（ソフト事業）
6 水と緑を守り育む広域都市づくり (とやまの恵みを未来につなぐ)	⑫ 森林の持つ多面的機能の持続的な発展に寄与する事業 ⑬ 循環型まちづくりと地球環境問題への対応に寄与する事業
7 スリムで力強い行政づくり (行財政改革へのさらなる取組み)	⑭ 新しい行財政システムの確立に寄与する事業 ⑮ 職員のスキルアップ事業